

カリキュラム検討委員会からの提言 「学校あるある」 ⑧

ちょっとした雑談は、コミュニケーションの潤滑油

～私からはじめる みんなでつくろう 楽しい学校～

雑談を意識的にしてみよう

- 退勤時「お疲れ様でした」だけではなく、一言付け加えることから。例えば・・・
「明日の朝は氷点下の予報ですよ」「寒かったので、夕食は鍋にしようかな」
- 「ちょっと嬉しいことがあってね」（ちょいハピ）など廊下や給湯室でちょっと立ち話などなど。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、職場で懇親会が開催できなかつたり、2学期の過密スケジュールの忙しさから同僚と話をする時間がなかつたりして「職場がぎすぎすしている」「管理職や同僚との意思疎通がうまくいっていない」「落ち着いて仕事ができない、自分の居場所がない職員室」に自分の職場がなっていたら大変！

実は、普段のちょっとしたおしゃべりが同僚との円滑なコミュニケーションにつながります。同僚に話しかけられたら、仕事をほんの少し中断して、相手のほうを向いて答えるなどの小さな積み重ねが職場環境を改善するための第一歩となります。

さらに、職場で取り組めること 「一緒に、やってみっぺし！」の構えが必要な時も！

- 担当の教職員に裁量権をしっかりと与える。やらされ感ばかりが募ると、自分でコントロールできないことが多くなり、メンタル不調になることも。転勤1年めの教職員も前任校との違いから、負担感を感じやすくなっている傾向があります。「わかっているでしょ」「経験あるでしょ」と年齢や経験等の属性にとられることなく、「まず、一緒にやってみっぺし！」の声かけでサポートできる体制づくりを。
- 学級通信や研究授業の指導案、通知票の所見、何度もやり直しを要求するなど、書き直す回数や朱書きを多く入れることを指導と思っている職場の仲間。指導案を10回書き直させるなんてまさか!?!ないと思いますが、本来のねらいだけ大切にして、行き過ぎたチェックはお互いやめるように話してみましょ。雑談からコミュニケーションへ。
- 女性部運動の一つ、JJJ集会を短時間で実施。女性だけでなく、男性や組合未加入者も誘ってみましょ。ある支部での女性部活動では、情宣に「ちょいハピ」を紹介して職場の話題づくりに。
- 初任者や若手教職員のお悩み相談会など、多くの教職員と考える機会を設定してみても。組合だからこそできる人とのつながり、視野の広がりや解決することがありますよ。

分会会議 **with you**をあなたの職場で！